

1. 自己評価及び外部評価結果

作成：令和5年12月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105081
法人名	医療法人 尚文会
事業所名	グループホーム 竹山苑
所在地	鹿児島県鹿児島市郡山町2570番地1 (電話) 099-298-2161
自己評価作成日	令和5年11月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年12月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・山々や田んぼの景色が目の前にひろがり四季折々の季節を感じられ、心とからだ健康で元気になる環境に竹山苑があります。
- ・職員は理念にそったケアの実践に努め支援しています。
- ・地域の方々との交流を大切にしています。お互い支え合うよい関係性が築けるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・法人理念と独自の理念が有り、職員は理念に沿ったケアを実践しケース記録に記載し、毎月のケア会議で振り返りを行っている。事務長や管理者は3ヶ月毎に評価し職員に伝えている。
- ・当事業所は眼前に山や田んぼが広がり、日々の散歩で四季の変化を感じられる環境であり、近くに地域コミュニティセンターがあるので運営推進会議の会場や避難所として活用している。
- ・町内会に加入し回覧板で竹山苑だよりを回覧してもらったり、地域住民とのあいさつや旬の野菜の差し入れ等もある。また、地域文化祭に出品したり、こどもの日には児童館の子供たちにお菓子をプレゼントしたり、子供たちからのメッセージを貰うなど、交流を大切にしている。
- ・家族へ「竹山苑だより」を月1回郵送している。その際に別紙で担当職員が利用者の行事参加や活動の様子、1ヶ月の医療機関検診や体調、利用者より家族へ一言のコメントを記載し報告している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り後、理念を唱和し実践に繋げている。	法人理念をパンフレットや重要事項説明書に掲載している。独自の理念を平成26年に職員全員で作成し申し送り後、毎朝理念を唱和し実践しケース記録に記載している。毎月ケア会議で振り返り3ヶ月毎に評価し職員は次に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	事業所は自治会に加入している。利用者は地域の方と日常生活の中であいさつを交わす機会があり敬老の日には、子供たちからお手紙をいただくなどの交流がある。	自治会に加入し、回覧板で竹山苑だよりを回覧して貰っている。地域情報は回覧板や運営推進会議で得ている。地域文化祭に作品展示で参加したり、毎年、こどもの日に児童館の子供たちへお菓子を差し入れ、敬老の日には子供たちからメッセージを貰っている。散歩時の挨拶や旬野菜の差し入れがある等、日頃から交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の中で認知症の病気や理解、支援方法について地域の方々に向けて生かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。活動報告・入所状況、話し合いなどおこない、そこでの意見はサービス向上に活かしている。</p>	<p>地域公民館で2ヶ月に1回、対面での会議を開催し、入所者状況や行事など活動報告と外部評価結果、感染対策として窓越し面会継続中等を報告し、意見交換している。個別対応で相談を受けたり、「行事の開催は季節が感じられ良かった」との意見も有り、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>日頃より市町村担当者と相談、情報交換など日頃から連携を取っている。地域ケア会議にも積極的に参加している。</p>	<p>市担当者とは窓口に出向き書類の申請したり、電話での相談や情報交換などを行っている。生活保護担当者と利用者状況を情報共有するなど、日頃から連携・協力関係にある。市主催の研修にズームで参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>すべての職員は身体拘束を「しない」「させない」「見逃さない」を念頭におき身体拘束をしないケアに努めている。定期的な研修で禁止の対象となる具体的な行為についても正しく理解している。定期的に身体拘束委員会を開催している。</p>	<p>身体拘束委員会を3ヶ月ごとに実施し、研修会も担当者を決めスピーチロック、抑制についてなどテーマを決めている。権利擁護や虐待委員会も開催し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中の玄関施錠はせず、外出希望者は玄関に出て日光浴、職員と一緒に散歩支援している。携帯電話で家族と話すことで安心に繋がる支援もしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	すべての職員は高齢者虐待防止について研修で学ぶ機会があり事業所内で虐待がおこなわれることのないよう細心の注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	すべての職員は研修で権利擁護について学ぶ機会がある。利用者の尊厳、権利を守り個々の必要性を関係者に相談しながら活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結、解約や改定などの際は利用者、家族が理解納得されるよう十分に説明するよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の面会時や利用者との日常生活の中でいつでも要望や意見を聞ける機会がありそれを運営に活かすよう努めている。	利用者の意見や要望は日頃の日常生活の中でケース記録に記載している。家族からは面会時や電話で意見・要望を聞いている。年2回家族会を開催し生活状況等の報告をし意見交換している。毎月、竹山苑だよりで個別に担当者が行事や活動の様子、医療機関検診の結果や体調など詳細に記録し郵送報告し意見や要望を言える機会を設け支援に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンスなどで職員が意見や提案が出しやすい環境作りに努めている。それらを定期的な運営会議で検討し運営に活かしている。</p>	<p>事務長や管理者は毎月全体カンファレンスや各ユニットでのカンファレンスで意見や提案を聞いている。申し送りや日々の関わりでも声かけし意見などを言える環境を作っている。事務長や管理者は相談の個別対応し、必要時は主任を交え3者会議を設け働きやすい環境作りを心がけてケアの関わり方、言葉のかけ方等に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員各自が向上心を持って働けるよう職場環境、条件の整備に努めている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員が事業所内外の研修に参加できるよう機会の確保や働きながら支援できるよう努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>職員は同業者と勉強会、相互訪問等の活動を通じサービスの質を向上させていく取り組みをおこなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい環境の中で利用者の不安や要望などに耳を傾け信頼関係を築くよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい環境の中で家族の不安や要望などを聞き利用者を相互に支えていく関係性を築くよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者や家族、関係機関などから十分に話しを聞きその時に必要な支援を見極めサービス提供できるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の思いに寄り添い本人のペースに合わせた支援をおこなうことで信頼関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人に変化があればその都度家族に連絡している。面会時や毎月のお便りで本人の様子などお伝えしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ感染防止のため家族や知人の方は窓越し面会や電話などで引き続き良い関係性が保てるよう支援している。</p>	<p>コロナ感染5類移行後も家族や知人の面会は継続して窓越し面会である。状況に応じて距離を考慮し対面での面会もある。電話・葉書・手紙等の取次支援や家族による医療機関受診後のドライブや外食・買い物等、馴染みの人や場との関係が途切れない支援をしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者が孤立することがないようにレクレーションや会話、散歩などを通し利用者同志笑顔で過ごせるよう支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了してもこれまでの関係性を大切にしたいと思っている。必要に応じて本人、家族の相談支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりとの会話の時間を大切にしている。その中で本人の望む暮らしや思いが把握できサービスに生かせるよう努めている。	日常のコミュニケーションを大事に入浴時やお茶を一緒にする時に、思いや希望など聞いている。管理者が朝の時間帯に個々に声かけや対面して状況を把握している。困難な場合は居室で話したり、表情や動作の変化を家族に相談し利用者の思いに沿った支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴を基本に本人、家族、関係機関からの情報提供でこれまでの暮らしやサービスなど把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で心身の状態や有する力などを本人の表情や言動から把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意向にそった介護計画作成のために関係者と話し合い意見などを反映しながら介護計画を作成している。	本人や家族の意向、主治医や看護師・薬剤師の意見、ケース記録をもとに原案プランを担当者会議で意見交換し、アイデアを活かし介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月毎、見直しは6ヶ月毎で、状況変化時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や気づき、体調変化などケース記録や業務日誌に記入し職員間で情報共有し統一したケアに繋げている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況、その時々ニーズに対応し必要なサービスを提供するよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの地域資源を把握し本人が安心して暮らせるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族が希望されるかかりつけ医と連携しながら適切な医療を受けられるよう支援している。それ以外の利用者は苑の協力病院で定期的に診ていただいている。</p>	<p>希望される協力医療機関の複数のかかりつけ医と連携しながら月2回とその他に月1回の訪問診療が有り、結果は月1回お便りで詳細に報告している。緊急時や必要時は主治医に電話で報告・相談し救急車搬送の場合もある。他科受診は基本は家族に依頼し、必要時、母体医療機関の受診は職員同伴でしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の体調不良時はかかりつけ医や協力病院に相談し適切な対応、受診に繋げ支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時サマリー等で病院関係者と情報交換している。利用者が安心して治療が受けられ早期に退院できるように普段から病院関係者との関係作りに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族と重症化した場合や終末期のあり方について随時、話し合いをおこなっている。できること、できないことについても十分に説明し方針を共有している。</p>	<p>重度化や終末期のあり方についてマニュアルに基づいて説明し口頭で同意を得ている。状態変化時は早い段階から主治医から説明があり、事業所でできること、できないことを十分説明し方針を共有している。家族の意思確認し、終末期を主治医の往診や訪問看護師・職員、家族の協力で看取り介護の経験がある。基本的に事業所は看取りをしていない。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変時や事故発生時の対応を勉強会などで学び急変時マニュアルはいつでも閲覧できるようにしており実践力を身につけるのに役立っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災、地震、水害などの災害を昼夜問わず想定し利用者が避難できるよう全職員は訓練をおこなっている。定期的に防災会議を開催している。</p>	<p>年2回防災訓練をしているが1回のみ、消防署の指導で昼夜問わず火災・水害を想定し避難訓練、水消火器で消火訓練を実施している。避難場所は近くの公民館であるが、訓練時玄関口待機である。避難経路は事務所や各ユニットに掲示している。緊急連絡網に自治会長も掲載している。備蓄として水・乾パン・カレーなどのレトルト食品・缶詰等、3日分とオムツやトイレトペーパー・カセットコンロ等がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者の人格を尊重しながら様々な場面でプライバシーに配慮した声かけや対応を心がけている。</p>	<p>年1回人権擁護や言葉遣いについて勉強会を行っている。人格を尊重しプライバシーに配慮している。利用者への声かけも苗字や名前に対応している。入室時はノックや声かけ、トイレ誘導は耳元で声かけし、ドアは少し開け見守り支援している。入浴も「風呂に行かれませんか」と声かけし脱衣室、浴室の室温調整し羞恥心に配慮した支援をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の思いに寄り添いながら希望を聞き自己決定ができるよう支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の希望を聞きながらその方のペースで一日楽しく過ごせるよう支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>起床時鏡を見ながら髪をといたり身だしなみを整えている。好みの洋服を一緒に選びその人らしいおしゃれが出来るよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや食前後のテーブル拭きなど一人ひとりのもっている力により支援している。職員は昼食を利用者と一緒に行っている。	旬の野菜を使った献立を事務長が作成し、食材は事前に注文し毎日配達である。食形態は普通食からミキサー食迄、利用者に応じて提供し食器も考慮している。行事食や毎月の誕生会はリクエストの散し寿司等、当日は本人の好きな料理を提供している。野菜の下ごしらえや食後の台ふき等、職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に応じて食べる量や形態、栄養バランスについて配慮している。また嚥下状態の悪い方にはとろみ剤を使用するなど支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内が清潔であるように毎食後、義歯磨きやうがいなどおこなっていただいている。また週2回ポリデント洗浄して清潔に使用していただいている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で定期的なトイレの声かけや誘導をおこない排泄の自立に向けた支援をしている。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレ誘導時は耳元で声かけ、排泄支援している。主にリハビリパンツにパットを使用しているが尿量に応じて使い分けている。パンツに変更できた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の手作りヨーグルトの提供やオリゴ糖の使用、苑内の散歩腹部マッサージなどで便秘改善に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回の入浴日以外に本人の希望があれば入れる機会がある。入浴中は楽しく会話しながら支援している。	週2回、午後からの入浴支援であるが希望に応じて午前の時もある。冬のみ入浴剤を使用し、ゆっくりと会話しながら楽しんでいる。入浴拒否時は声掛けの工夫、職員交代で連携しながら支援し、更衣・清拭など個々に応じて入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の状態によって休息していただいている。安眠できる環境を整えて安心して休まれるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬マニュアルを守り支援している。薬の目的や用法、用量や副作用については薬剤師から説明を受け理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握し趣味や特技を活かせるよう支援している。笑顔で過ごしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>その日の希望にそって苑のまわりの散歩や外気浴で気分転換していただいている。普段行けないような場所への外出支援は控えている。病院受診は基本家族にお願いしている。</p>	<p>コロナ感染禍で外出支援は自粛しているが、希望にそって、苑の周りや田んぼ周囲を30分程度、散歩しながら外気浴等で気分転換を図っている。ドライブしながらコスモスや桜の花見、景色の変化を楽しんでいる。正月は玄関の門松を背景に記念撮影している。家族の協力で医療機関受診後、買い物・外食・ドライブ等の支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>施設でのお金の預かりはしていない。家族との外出時に好きなものを買物されている。日用品は立て替えでの支援になっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が希望されるときはいつでも電話や手紙のやり取りができるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は室温や湿度に気をつけ、テレビの音は大き過ぎず窓から差し込む光は眩しくないように配慮している。また季節ごとの装飾は利用者といっしょにおこない居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	<p>共用の空間はエアコンや空気清浄機があり、定期的に換気を行い、室温や湿度も配慮している。採光もカーテンで調整し過ごしやすい環境である。テレビやラジオ、距離を考慮したテーブルと椅子、ソファも配置している。花や季節のものが飾っており、手作りの日めくりカレンダーや利用者の作品も掲示している。利用者は雑誌や新聞を読んで過ごす等、居心地の良い空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者通しが自由に行き来ができ会話など楽しめるよう支援している。また一人でゆっくり過ごせる時間も大切にしている。配慮している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には家族の写真やアルバム、思い出の品物などを飾り本人が心地よく過ごせるよう配慮している。</p>	<p>ベット・エアコン・洋服ダンスが設置してある。寝具類は持ち込みで、使い慣れたタンスやクリアケース・机・椅子・テレビ・ラジオ・手鏡・化粧品・ぬいぐるみ・アルバム・家族写真・絵葉書等を持ち込み、安心して過ごせる居室になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの状態を把握し安全な動線の確保や見守りで、利用者の自立した生活が送れるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない